



第三十六号の四様式 (第六条、第六条の二の二関係) (A4)

定期検査報告書
(昇降機)
(第一面)

建築基準法第12条第3項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定により、
定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は事実と相違ありません。

東京都知事 様

令和元 年 8 月 17 日

報告者氏名 バームハイツ西葛西管理組合
理事長 和賀 武久



検査者氏名 高栗 健一



【1. 所有者】

【イ. 氏名のフリガナ】 バームハイツ西葛西管理組合
【ロ. 氏名】 バームハイツ西葛西区分所有者一同
【ハ. 郵便番号】 134-0088
【ニ. 住所】 東京都江戸川区西葛西3-3-13
【ホ. 電話番号】 03-3686-1971

【2. 管理者】

【イ. 氏名のフリガナ】 バームハイツ西葛西管理組合
【ロ. 氏名】 バームハイツ西葛西管理組合 理事長 和賀 武久
【ハ. 郵便番号】 134-0088
【ニ. 住所】 東京都江戸川区西葛西3-3-13
【ホ. 電話番号】 03-3686-1971

【3. 報告対象建築物等】

【イ. 所在地】 東京都江戸川区西葛西3-3-13
【ロ. 名称のフリガナ】 バームハイツ西葛西
【ハ. 名称】 バームハイツ西葛西
【ニ. 用途】 共同住宅

【4. 報告対象昇降機】

【イ. 検査対象昇降機の台数】 (3 台)
【ロ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり 0 台 (うち既存不適格 0 台)
要重点点検の指摘あり 0 台 指摘なし 3 台
【ハ. 指摘の概要】
【ニ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (年 月に改善予定) ☐ 無
【ホ. その他特記事項】

※受付欄	※記事欄	※判定欄

建築物等の名称 : バームハイツ西葛西

検査会社のコード等 : MF3626T-01

登録番号 1988062792

延べ面積 16,452 m²

日本オーチス・エレベータ株式会社

昇降機等の状況等

【1. 昇降機に係る確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】 昭和61 年 3 月 31 日 第 302 号
【ロ. 確認済証交付者】 ☒ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 ()
【ハ. 検査済証交付年月日】 昭和61 年 5 月 13 日 第 302 号
【ニ. 検査済証交付者】 ☒ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 ()

【2. 検査日等】

【イ. 今回の検査】 (令和 1 年 7 月 29 日 実施)
【ロ. 前回の検査】 ☒ 実施 (平成30 年 8 月 24 日 報告) ☐ 未実施
【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】 ☒ 有 ☐ 無

【3. 検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録 第 号
昇降機等検査員 第 C90018392 号

【ロ. 氏名のフリガナ】 効刈 ケンイチ

【ハ. 氏名】 高栗 健一

【ニ. 勤務先】 日本オーチス・エレベータ株式会社

() 建築士事務所 () 知事登録 第 号

【ホ. 郵便番号】 112-0012

【ヘ. 所在地】 東京都文京区大塚二丁目9番3号 住友不動産音羽ビル4階

【ト. 電話番号】 03-5940-2914

(その他の検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録 第 号
昇降機等検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

() 建築士事務所 () 知事登録 第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【4. 保守業者】

【イ. 名称】 日本オーチス・エレベータ株式会社

【ロ. 郵便番号】 112-0012

【ハ. 所在地】 東京都文京区大塚二丁目9番3号 住友不動産音羽ビル4階

【ニ. 電話番号】 03-5940-2860

【5. 昇降機の概要】 (番号 1 号機)

【イ. 種類】 ☒ 建築設備 ☐ 工作物【ロ. 種別】 ☒ エレベーター (☐ 斜行) ☐ エスカレーター ☐ 小荷物専用【ハ. 駆動方式】 ☒ ロープ式 ☐ 油圧式 ☐ その他 ()【ニ. 用途等】 ☒ 乗用 (☐ 人荷共用 ☐ 非常用) ☐ 寝台用 ☐ 自動車運搬用 ☐ 荷物用【ホ. 機械室の有無】 ☒ 有 ☐ 無【ヘ. 仕様】 (電動機の定格容量) (定格速度) (積載量) (定 員) (踏段の幅) (勾 配)
(3.7kW) (60m/min) (600kg) (9人) (m) (度)

【ト. 停止階】 1~12

(停止階床数 12)

【チ. 製造者名】 日本オーチス・エレベータ株式会社

【6. 検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格)
☐ 要重点点検の指摘あり ☒ 指摘なし

【ロ. 指摘の概要】

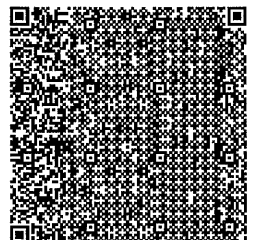
【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (年 月に改善予定)
☐ 無

【7. 不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 ☐ 有 ☒ 無【ロ. 不具合記録】 ☐ 有 ☒ 無【ハ. 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 (年 月に改善予定) ☐ 予定なし

【8. 備考】

戸開走行保護装置 (認定番号: ENNNUN-1037) 平形ロープ (認定番号: EPNN-0067)



当該検査に 関与した 検査者		氏名	検査者番号
	代表となる検査者	高栗 健一	
	その他の検査者		

		昇降機番号		1		
番号	検査項目	検査結果				担当 検査者 番号
		指摘 なし	要重点 点検	要是正	既 存 不適格	
1	機械室(機械室を有しないエレベーターにあつては、共通)					
(1)	機械室への通路及び出入口の戸	○				
(2)	機械室内の状況並びに照明装置及び換気設備等	○				
(3)	機械室の床の貫通部	○				
(4)	救出装置	○				
(5)	開閉器及び遮断器	○				
(6)	接触器、継電器及び運転制御用基板 制御器	電動機主回路用接触器の主接点 主接点を目視により確認 フェールセーフ設計 (<u>該当する</u>)・該当しない)		適・否・ <u>確認不可</u>		○
		交換基準 ① 製造者が指定する交換基準 (30年) ロ. やむを得ない事情により、 検査者が設定する交換基準 ()		最終交換日 平成28年 6月30日 MC MC:3年		
		ブレーキ用接触器の接点 接点を目視により確認 フェールセーフ設計 (<u>該当する</u>)・該当しない)		適・否・ <u>確認不可</u>		
		交換基準 ① 製造者が指定する交換基準 (10年100万回) ロ. やむを得ない事情により、 検査者が設定する交換基準 ()		最終交換日 平成28年 6月30日 LB LB:3年/83万回		
(7)	ヒューズ	○				
(8)	絶縁 電動発電機の回路(300V以下 ・ 300V超)		MΩ	○		
	電動機の回路 (300V以下 ・ <u>300V超</u>)		5 MΩ			
	制御器等の回路の300Vを超える回路		MΩ			
	制御器等の回路の150Vを超え300V以下の回路		10 MΩ			
	制御器等の回路の150V以下の回路		10 MΩ			
(9)	接地	○				
(10)	階床選択機					

番号	検査項目			検査結果				担当 検査者 番号
				指摘 なし	要重点 点検	要是正	既 存 不適格	
(11)	減速歯車							
(12)	綱車又は巻胴	綱車と主索のかかり		○				
		① 製造者が指定する要是正となる基準値 (シーブ面損傷、メッキの剥離 mm)	— mm					
		ロ. やむを得ない事情により、検査者が 設定する要是正となる基準値 (mm)						
		ハ. 綱車と主索の滑り等により判定 複数の溝間の摩耗差の状況	適 ・ 否 適 ・ 否					
(13)	軸受			○				
(14)	巻上機	しゅう動面への油の付着の状況	適 ・ 否	○				
		保持力						
		イ. ブレーキをかけた状態において、トルク レンチにより確認	適 ・ 否					
		② ブレーキをかけた状態において、電動機 にトルクをかけ確認						
		ハ. かごに荷重を加え、かごの位置を確認						
		パッドの厚さ						
(14)	ブレーキ	① 製造者が指定する 要重点点検となる基準値 (すき間0.40mm以上 mm)	右 0.26 mm 左 mm	○				
		要是正となる基準値 (すき間0.45mm以上 mm)						
		ロ. やむを得ない事情により、検査者が 設定する 要重点点検となる基準値 (mm) 要是正となる基準値 (mm)						
		プランジャーストローク						
(14)		① 構造上対象外						
		ロ. 製造者が指定する 要重点点検となる基準値 (mm)						
		要是正となる基準値 (mm)	mm					
		ハ. やむを得ない事情により、検査者が 設定する 要重点点検となる基準値 (mm) 要是正となる基準値 (mm)						
(15)	そらせ車			○				
(16)	電動機			○				
(17)	電動発電機							
(18)	駆動装置等の耐震対策			○				
(19)	速度	定格速度 (60 m/min)	上昇 60 m/min 下降 60 m/min	○				
2	共通							
(1)	かご側 調速機	過速スイッチの作動速度 (定格速度の 123.4 %)	74 m/min	○				
		キャッチの作動速度 (定格速度の 135.0 %)	81 m/min					
(2)	釣合おもり 側調速機	キャッチの作動速度(かご側キャッチの作動速度の %)	m/min					

番号	検査項目	検査結果				担当 検査者 番号		
		指摘 なし	要重点 点検	要是正	既 存 不適格			
(3)	主索又は鎖	径の状況 最も摩耗した主索の番号() 直径 (mm) 未摩耗直径 (mm)	%					
		主索 素線切れ 最も摩損した主索の番号() 該当する素線切れ判定基準() 素線切れが生じた部分の断面積の割合 70%超・70%以下	1よりピッチ内の 素線切れ数 本					
			1構成より 1ピッチ内の 最大の素線切れ数 本					
			錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分 (あり ・ なし) 谷部が赤錆色に見える主索の番号 () 直径 (mm) 未摩耗直径 (mm) 該当する錆及び錆びた摩耗粉判定基準 ()	%				
		鎖	主索本数(本) 要重点点検の主索の番号() 要是正の主索の番号()					
			摩耗 最も摩耗した鎖の番号() 測定長さ(mm) 基準長さ(mm) 伸び	%				
			鎖本数(本) 要重点点検の鎖の番号() 要是正の鎖の番号()					
		(4)	主索又は鎖の張り	○				
		(5)	主索又は鎖及び调速機ロープの取付部	○				
		(6)	主索又は鎖の緩み検出装置					
(7)	主索又は鎖の巻過ぎ検出装置							
(8)	はかり装置	○						
(9)	戸開走行保護装置	○						
(10)	地震時等管制運転装置	○						
(11)	降下防止装置							
(12)	換気設備等							
(13)	制御盤扉							
3	かご室							
(1)	かごの壁又は囲い、天井及び床	○						
(2)	かごの戸及び敷居	○						
(3)	かごの戸のスイッチ	○						
(4)	床合わせ補正装置及び着床装置	○						
(5)	車止め、光電装置等							
(6)	かご操作盤及び表示器	○						
(7)	操縦機							
(8)	外部への連絡装置	○						
(9)	かご内の停止スイッチ	○						
(10)	用途、積載量及び最大定員の標識	○						
(11)	かごの照明装置	○						
(12)	停電灯装置	○						
(13)	かごの床先	○						
4	かご上							
(1)	かご上の停止スイッチ	○						
(2)	頂部安全距離確保スイッチ							
(3)	上部ファイナルリミットスイッチ及びリミット(強制停止)スイッチ	○						

番号	検査項目		検査結果				担当 検査者 番号
			指摘 なし	要重点 点検	要是正	既 存 不適格	
(4)	上部緩衝器又は上部緩衝材						
(5)	頂部綱車						
(6)	調速機ロープ	径の状況 直径 (9.9 mm) 未摩耗直径 (10.0 mm)	99 %	○			
		素線切れ 該当する素線切れ判定基準(ハ) 素線切れが生じた部分の断面積の割合 -70%超・70%以下					
		錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分 (あり ・ なし)					
		直径 (mm) 未摩耗直径 (mm) % 該当する錆及び錆びた摩耗粉判定基準 (---)					
(7)	かごの非常救出口						
(8)	かごのガイドシュー等		○				
(9)	かご吊り車		○				
(10)	ガイドレール及びレールブラケット		○				
(11)	施錠装置		○				
(12)	昇降路における壁又は囲い		○				
(13)	乗り場の戸及び敷居		○				
(14)	昇降路内の耐震対策		○				
(15)	移動ケーブル及び取付部		○				
(16)	釣合おもりの各部		○				
(17)	釣合おもり 非常止め装置	形式 早ぎき式・次第ぎき式・スラックロープ式					
		作動の状況 イ. 無積載の状態において非常止め作動時にブレーキを開放して確認 ロ. 非常止め作動時に綱車が空転することを確認又は空転検知を示す 発光ダイオード、信号等により確認 ハ. 非常止め作動時にかごを持ち上げ、主索の緩みを確認 ニ. スラック式にあっては、主索又は鎖を緩めた後に釣合おもりが動 かず、主索又は鎖が緩んだままであることを確認					
(18)	釣合おもりの吊り車		○				
(19)	かごの戸の開閉機構		○				
(20)	かごの枠		○				
5	乗り場						
(1)	押しボタン等及び表示器		○				
(2)	非常解錠装置		○				
(3)	乗り場の戸の遮煙構造						
(4)	昇降路の壁又は囲いの一部を有しない部分の構造						
(5)	制御盤扉						
6	ピット						
(1)	保守用停止スイッチ						
(2)	底部安全距離確保スイッチ						
(3)	下部ファイナルリミットスイッチ及びリミット(強制停止)スイッチ		○				
(4)	緩衝器及び 緩衝材	形式 (ばね式)・油入式・緩衝材		○			
		劣化の状況	適 ・ 否				
		作動の状況(油入式のものに限る。)	適 ・ 否				
		油量の状況(油入式のものに限る。)	適 ・ 否				
(5)	張り車		○				
(6)	ピット床		○				

番号	検査項目			検査結果				担当 検査者 番号
				指摘 なし	要重点 点検	要是正	既 存 不適格	
(7)	かご非常止め 装置	形式 早ぎき式・ 次第ぎき式 ・スラックロープ式 作動の状況 イ. 釣合おもりよりかごが重い状態において非常止め作動時にブレーキを 開放して確認 ㊦ 非常止め作動時に綱車が空転することを確認又は空転検知を示す 発光ダイオード、信号等により確認 ハ. 非常止め作動時に釣合おもりを持ち上げ、主索の緩みを確認 ニ. スラック式にあっては、主索を緩めた後にかごが動かず、主索が緩ん だままであることを確認		○				
(8)	かご下綱車							
(9)	釣合ロープ又は釣合鎖の取付部							
(10)	釣合おもり底部すき間	緩衝器形式 <u>ばね式</u> ・油入式・緩衝材 制御方式 交流1(2)段制御・ <u>その他</u> 前回の定期検査時(480 mm)	480 mm	○				
(11)	移動ケーブル及び取付部			○				
(12)	ピット内の耐震対策			○				
(13)	駆動装置の主索保護カバー							
(14)	かごの枠			○				
7	非常用エレベーター							
(1)	かご呼び戻し装置							
(2)	一次消防運転							
(3)	二次消防運転	二次消防運転時の速度						
(4)	予備電源切替え回路							
(5)	その他							
8	上記以外の検査項目							
1	平形ロープ	MFL	D I (破損係数)	判定結果	○			
			6.60未満	良好				
	<input checked="" type="checkbox"/> 3.00(厚さ)X30.00(幅)mm (3)本		6.60~7.00	要重点点検				
	<input type="checkbox"/> 3.00(厚さ)X60.00(幅)mm ()本		7.00を超える	要是正				
	要重点点検のロープ NO. (). 要是正のロープ NO. ()							
		RBI	LED表示	判定結果				
	<input type="checkbox"/> MFL使用	DI値 ()	点滅1回	良好				
	<input checked="" type="checkbox"/> RBI使用	点滅回数 (1)	点滅5回	要重点点検				
			点滅6回	要是正				
				判断基準				
	コードが外部より見える又は露出した状態			要是正	○			
	ウレタンジャケットに恒久的な変形がある			要是正	○			
特記事項								
番号	検査項目	検査事項	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予 定)年月			

特記事項					
番号	検査項目	検査事項	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月

戸開走行保護装置に対する定期検査及び定期点検の項目・事項・方法・判定基準及び検査結果表

大臣認定番号 ENNNUN-1037 UCMP型式 DBGP-3

発行:平成 31年 4月 1日Ver.6T

建築物等の名称: バームハイツ西葛西

機種: GeN2 MOD

登録番号: 1988062792

定格速度: 60m/min 積載入力: 600kg

検査者氏名: 高栗 健一

令和 1 年 7 月 29 日

昇降機番号: 1 号機

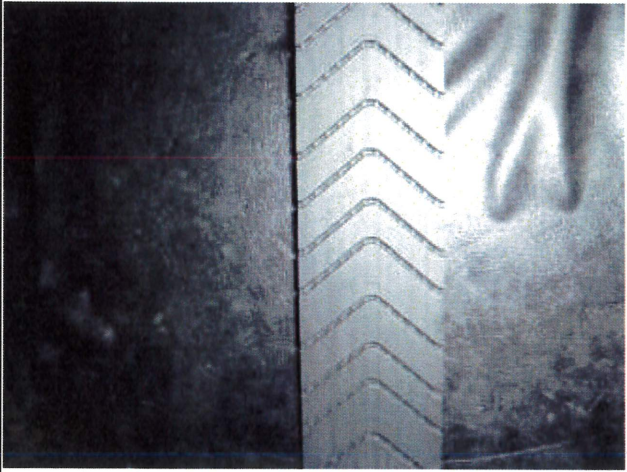
検査項目	検査事項	検査方法	判定基準	測定値・確認記録	結果	
					指摘なし	要是正
(1) 戸開走行保護回路	取付けの状況	触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。		○	
	走行中戸開時の動作確認	エレベーターがドアゾーン外にいる時に乗場戸の鍵を外す。	電動機動力電源及びブレーキの励磁コイル電源を遮断するリレー(S1,S2)が消磁しないこと。エレベーターが停止しないこと。		○	
	安全プログラムバージョン	目視により確認する。	プリント基盤「GECB」の型番を確認し、指定型番でないこと。 指定型番: JAA26807CEZ124	「GECB」型番 JAA26807CEZ 124	○	
(2) つま先保護板	取付けの状況	目視及び触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。		○	
	長さ	かご床面からつま先保護板直線部までの長さを測定する。	規定値: 765 mm未満であること。	測定値: 780 mm	○	
(3) 特定距離感知装置	取付けの状況	目視及び触診により確認する。	取付けが堅固でない事。		○	
	動作確認	各階に走行させ着床させる。	正常に着床しない事。		○	
(4) 部品	規定部品の形式	目視により確認する。	規定部品の形式が適正なものでないこと。		○	
	規定部品の交換基準	目視及び触診により確認する。	規定部品の動作回数又は経過時間が規定値を超えていること。 S1,S2: 15 年 1000 万回 UDX: 6 年 100 万回	S1,S2: 3 年 83 万回 UDX: 3 年 83 万回	○	
(5) ブレーキ	パッドの状況	目視により確認する。	パッドに欠損、割れがあること又はディスクから剥離していること。		○	
	制動力の状況	かごの無積載上昇時のブレーキ制動を確認する。	ブレーキが制動しないこと又はかごが規定の距離以内で停止しないこと。 規定値: 1,000 mm	制動距離: 466 mm 前回: 528 mm	○	
	ブレーキ動作感知装置	目視により確認する。	ブレーキ開及び閉時の動作信号が異なる信号である事。		○	


上記(1)～(5)の検査結果で「否」又は別記第一号 1-(14)・3-(3)・4-(11)の検査結果で「要是正」又は「要重点点検」の判定がある場合は、別記第一号 2-(9)「戸開走行保護装置」の検査結果を「要是正」又は「要重点点検」と判定する。

特記事項

番号	検査項目	検査事項	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月

別添1様式 主索、鎖及びブレーキパッドの写真(A4)

主索又は鎖 最も摩耗若しくは摩損した主索若しくは鎖又は錆びた摩耗粉により 谷部が赤錆色に見える主索の番号 (ー)	検査結果	
	<input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> 要重点点検 <input checked="" type="checkbox"/> 指摘なし	
	特記事項	
	撮影場所は、1階の停止時に駆動綱車にかかる箇所より600mmの位置	

ブレーキパッド		検査結果			
ブレーキパッドの取付位置 日右 日左		<input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> 要重点点検 <input checked="" type="checkbox"/> 指摘なし			
	特記事項				
	クラッチ式				

建築物等の名称 : パームハイツ西葛西

登録番号 1988062792
043626 1

昇降機の状態等

【1. 昇降機に係る確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】 昭和61年 3月 31日 第 302 号
【ロ. 確認済証交付者】 ☒ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 ()
【ハ. 検査済証交付年月日】 昭和61年 5月 13日 第 302 号
【ニ. 検査済証交付者】 ☒ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 ()

【2. 検査日等】

【イ. 今回の検査】 (令和 1 年 7 月 29 日 実施)
【ロ. 前回の検査】 ☒ 実施 (平成30 年 8 月 24 日 報告) ☐ 未実施
【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】 ☒ 有 ☐ 無

【3. 検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録 第 号
昇降機等検査員 第 C90018392 号

【ロ. 氏名のフリガナ】 ヲカリ ケンイチ

【ハ. 氏名】 高栗 健一

【ニ. 勤務先】 日本オーチス・エレベータ株式会社
() 建築士事務所 () 知事登録 第 号

【ホ. 郵便番号】 112-0012

【ヘ. 所在地】 東京都文京区大塚二丁目9番3号 住友不動産音羽ビル4階

【ト. 電話番号】 03-5940-2914

(その他の検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録 第 号
昇降機等検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】 () 建築士事務所 () 知事登録 第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【4. 保守業者】

【イ. 名称】 日本オーチス・エレベータ株式会社

【ロ. 郵便番号】 112-0012

【ハ. 所在地】 東京都文京区大塚二丁目9番3号 住友不動産音羽ビル4階

【ニ. 電話番号】 03-5940-2860

【5. 昇降機の概要】 (番号 2 号機)

【イ. 種類】 ☒ 建築設備 ☐ 工作物【ロ. 種別】 ☒ エレベーター (☐ 斜行) ☐ エスカレーター ☐ 小荷物専用【ハ. 駆動方式】 ☒ ロープ式 ☐ 油圧式 ☐ その他 ()【ニ. 用途等】 ☒ 乗用 (☐ 人荷共用 ☐ 非常用) ☐ 寝台用 ☐ 自動車運搬用 ☐ 荷物用【ホ. 機械室の有無】 ☒ 有 ☐ 無

【ヘ. 仕様】 (電動機の定格容量) (定格速度) (積載量) (定 員) (階段の幅) (勾 配)
(3.7kW) (60m/min) (600kg) (9人) (m) (度)

【ト. 停止階】 1. 4. 7. 10. 12

(停止階床数 5)

【チ. 製造者名】 日本オーチス・エレベータ株式会社

【6. 検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格)
☐ 要重点点検の指摘あり ☒ 指摘なし

【ロ. 指摘の概要】

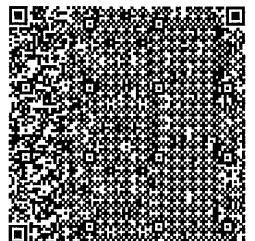
【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (年 月に改善予定)
☐ 無

【7. 不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 ☐ 有 ☒ 無【ロ. 不具合記録】 ☐ 有 ☒ 無【ハ. 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 (年 月に改善予定) ☐ 予定なし

【8. 備考】

戸開走行保護装置 (認定番号: ENNUN-1037) 平形ロープ (認定番号: EPNN-0067)



当該検査に 関与した 検査者		氏名	検査者番号
	代表となる検査者	高栗 健一	
	その他の検査者		

		昇降機番号		2		
番号	検査項目	検査結果				担当 検査者 番号
		指摘 なし	要重点 点検	要是正	既 存 不適格	
1	機械室(機械室を有しないエレベーターにあつては、共通)					
(1)	機械室への通路及び出入口の戸	○				
(2)	機械室内の状況並びに照明装置及び換気設備等	○				
(3)	機械室の床の貫通部	○				
(4)	救出装置	○				
(5)	開閉器及び遮断器	○				
(6)	制御器	電動機主回路用接触器の主接点 主接点を目視により確認 フェールセーフ設計 (<u>該当する</u>)・該当しない) 交換基準 ① 製造者が指定する交換基準 (30年) ロ. やむを得ない事情により、 検査者が設定する交換基準 ()		適・否・ <u>確認不可</u> 最終交換日 平成28年 6月30日 MC MC:3年		○
		ブレーキ用接触器の接点 接点を目視により確認 フェールセーフ設計 (<u>該当する</u>)・該当しない) 交換基準 ① 製造者が指定する交換基準 (10年100万回) ロ. やむを得ない事情により、 検査者が設定する交換基準 ()		適・否・ <u>確認不可</u> 最終交換日 平成28年 6月30日 LB LB:3年/56万回		
		ヒューズ		○		
		絶縁 電動発電機の回路(300V以下・300V超) MΩ 電動機の回路 (300V以下・ <u>300V超</u>) 5 MΩ 制御器等の回路の300Vを超える回路 MΩ 制御器等の回路の150Vを超え300V以下の回路 10 MΩ 制御器等の回路の150V以下の回路 10 MΩ		○		
(7)	接地	○				
(10)	階床選択機					

登録番号 1988062791
043626 2

番号	検査項目	検査結果				担当 検査者 番号	
		指摘 なし	要重点 点検	要是正	既 存 不適格		
(3)	主索又は鎖	径の状況					
		最も摩耗した主索の番号()		%			
		直径 (mm) 未摩耗直径 (mm)					
		主索	素線切れ	1 よりピッチ内の 素線切れ数			
			最も摩損した主索の番号()	本			
			該当する素線切れ判定基準()	1 構成より			
			素線切れが生じた部分の断面積の割合 70%超・70%以下	1 ピッチ内の 最大の素線切れ数	本		
		錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分 (あり ・ なし)		%			
		谷部が赤錆色に見える主索の番号 ()					
		直径 (mm) 未摩耗直径 (mm)		1 構成より			
該当する錆及び錆びた摩耗粉判定基準 ()		1 ピッチ内の 最大の素線切れ数	本				
主索本数(本)							
要重点点検の主索の番号() 要是正の主索の番号()							
鎖	摩耗 最も摩耗した鎖の番号()						
	測定長さ(mm) 基準長さ(mm)	伸び	%				
	鎖本数(本)						
要重点点検の鎖の番号() 要是正の鎖の番号()							
(4)	主索又は鎖の張り	○					
(5)	主索又は鎖及び调速機ロープの取付部	○					
(6)	主索又は鎖の緩み検出装置						
(7)	主索又は鎖の巻過ぎ検出装置						
(8)	はかり装置	○					
(9)	戸開走行保護装置	○					
(10)	地震時等管制運転装置	○					
(11)	降干防止装置						
(12)	換気設備等						
(13)	制御盤扉						
3	かご室						
(1)	かごの壁又は囲い、天井及び床	○					
(2)	かごの戸及び敷居	○					
(3)	かごの戸のスイッチ	○					
(4)	床合わせ補正装置及び着床装置	○					
(5)	車止め、光電装置等						
(6)	かご操作盤及び表示器	○					
(7)	操縦機						
(8)	外部への連絡装置	○					
(9)	かご内の停止スイッチ	○					
(10)	用途、積載量及び最大定員の標識	○					
(11)	かごの照明装置	○					
(12)	停電灯装置	○					
(13)	かごの床先	○					
4	かご上						
(1)	かご上の停止スイッチ	○					
(2)	頂部安全距離確保スイッチ						
(3)	上部ファイナルリミットスイッチ及びリミット(強制停止)スイッチ	○					

番号	検査項目	検査結果				担当 検査者 番号
		指摘 なし	要重点 点検	要是正	既 存 不 適 格	
(4)	上部緩衝器又は上部緩衝材					
(5)	頂部綱車					
(6)	調速機ロープ					
	<div>径の状況</div> <div>直径 (9.8 mm) 未摩耗直径 (10.0 mm)</div> <div>98 %</div> <div>素線切れ</div> <div>該当する素線切れ判定基準(ハ)</div> <div>素線切れが生じた部分の断面積の割合</div> <div>-70%超・70%以下</div> <div>錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分</div> <div>(あり ・ なし)</div> <div>直径 (mm) 未摩耗直径 (mm)</div> <div>%</div> <div>該当する錆及び錆びた摩耗粉判定基準</div> <div>(---)</div>	○				
(7)	かごの非常救出口					
(8)	かごのガイドシュー等	○				
(9)	かご吊り車	○				
(10)	ガイドレール及びレールブラケット	○				
(11)	施錠装置	○				
(12)	昇降路における壁又は囲い	○				
(13)	乗り場の戸及び敷居	○				
(14)	昇降路内の耐震対策	○				
(15)	移動ケーブル及び取付部	○				
(16)	釣合おもりの各部	○				
(17)	<div>形式 早ぎき式・次第ぎき式・スラックロープ式</div> <div>作動の状況</div> <div>イ. 無積載の状態において非常止め作動時にブレーキを開放して確認</div> <div>ロ. 非常止め作動時に綱車が空転することを確認又は空転検知を示す</div> <div>発光ダイオード、信号等により確認</div> <div>ハ. 非常止め作動時にかごを持ち上げ、主索の緩みを確認</div> <div>ニ. スラック式にあつては、主索又は鎖を緩めた後に釣合おもりが動</div> <div>かず、主索又は鎖が緩んだままであることを確認</div>					
(18)	釣合おもりの吊り車	○				
(19)	かごの戸の開閉機構	○				
(20)	かごの枠	○				
5	乗り場					
(1)	押しボタン等及び表示器	○				
(2)	非常解錠装置	○				
(3)	乗り場の戸の遮煙構造					
(4)	昇降路の壁又は囲いの一部を有しない部分の構造					
(5)	制御盤扉					
6	ピット					
(1)	保守用停止スイッチ					
(2)	底部安全距離確保スイッチ					
(3)	下部ファイナルリミットスイッチ及びリミット(強制停止)スイッチ	○				
(4)	<div>緩衝器及び</div> <div>緩衝材</div> <div>形式 ばね式・油入式・緩衝材</div> <div>劣化の状況</div> <div>作動の状況(油入式のものに限る。)</div> <div>油量の状況(油入式のものに限る。)</div>	○				
(5)	張り車	○				
(6)	ピット床	○				

番号	検査項目			検査結果				担当 検査者 番号
				指摘 なし	要重点 点検	要是正	既 存 不適格	
(7)	かご非常止め 装置	形式 早ぎき式・ <u>次第ぎき式</u> ・スラックロープ式 作動の状況 イ. 釣合おもりよりかごが重い状態において非常止め作動時にブレーキを 開放して確認 <input checked="" type="checkbox"/> 非常止め作動時に綱車が空転することを確認又は空転検知を示す 発光ダイオード、信号等により確認 ハ. 非常止め作動時に釣合おもりを持ち上げ、主索の緩みを確認 ニ. スラック式にあっては、主索を緩めた後にかごが動かず、主索が緩ん だままであることを確認		○				
(8)	かご下綱車							
(9)	釣合ロープ又は釣合鎖の取付部							
(10)	釣合おもり底部すき間	緩衝器形式 <u>ばね式</u> ・油入式・緩衝材 制御方式 交流1(2)段制御・ <u>その他</u> 前回の定期検査時(480 mm)	480 mm	○				
(11)	移動ケーブル及び取付部			○				
(12)	ピット内の耐震対策			○				
(13)	駆動装置の主索保護カバー							
(14)	かごの枠			○				
7	非常用エレベーター							
(1)	かご呼び戻し装置							
(2)	一次消防運転							
(3)	二次消防運転	二次消防運転時の速度		m/min				
(4)	予備電源切替え回路							
(5)	その他							
8	上記以外の検査項目							
1	平形ロープ	MFL	DI (破損係数)	判定結果	○			
			6.60未満	良好				
	<input checked="" type="checkbox"/> 3.00(厚さ)X30.00(幅)mm (3)本		6.60~7.00	要重点点検				
	<input type="checkbox"/> 3.00(厚さ)X60.00(幅)mm ()本		7.00を超える	要是正				
	要重点点検のロープ NO. (). 要是正のロープ NO. ()							
		RBI	LED表示	判定結果				
	<input type="checkbox"/> MFL使用 DI値 ()		点減1回	良好				
	<input checked="" type="checkbox"/> RBI使用 点減回数 (1)		点減5回	要重点点検				
			点減6回	要是正				
				判断基準				
	コードが外部より見える又は露出した状態		要是正		○			
	ウレタンジャケットに恒久的な変形がある		要是正		○			
特記事項								
番号	検査項目	検査事項	指摘の具体的内容等		改善策の具体的内容等		改善(予定)年月	

・特記事項					
番号	検査項目	検査事項	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月

戸開走行保護装置に対する定期検査及び定期点検の項目・事項・方法・判定基準及び検査結果表

大臣認定番号 ENNNUN-1037 UCMP型式 DBGP-3

発行:平成 31年 4月 1日Ver.6T

建築物等の名称: バームハイツ西葛西

機種: GeN2 MOD

登録番号: 1988062791

定格速度: 60m/min 積載入力: 600kg

検査者氏名: 高栗 健一

令和 1 年 7 月 29 日

昇降機番号: 2 号機

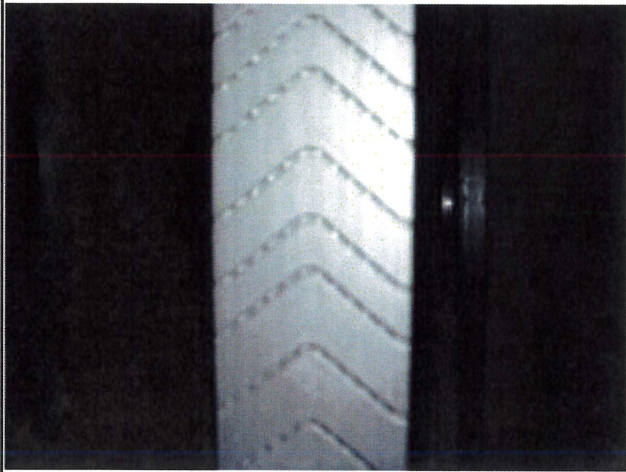
検査項目		検査事項	検査方法	判定基準	測定値・確認記録	結果	
						指摘なし	要是正
(1)	戸開走行保護回路	取付けの状況	触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。		○	
		走行中戸開時の動作確認	エレベーターがドアゾーン外にいる時に乗場戸の鍵を外す。	電動機動力電源及びブレーキの励磁コイル電源を遮断するリレー(S1,S2)が消磁しないこと。エレベーターが停止しないこと。		○	
		安全プログラムバージョン	目視により確認する。	プリント基盤「GECB」の型番を確認し、指定型番でないこと。 指定型番：JAA26807CEZ124	「GECB」型番 JAA26807CEZ 124	○	
(2)	つま先保護板	取付けの状況	目視及び触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。		○	
		長さ	かご床面からつま先保護板直線部までの長さを測定する。	規定値： 765 mm未満であること。	測定値： <u>780</u> mm	○	
(3)	特定距離感知装置	取付けの状況	目視及び触診により確認する。	取付けが堅固でない事。		○	
		動作確認	各階に走行させ着床させる。	正常に着床しない事。		○	
(4)	部品	規定部品の形式	目視により確認する。	規定部品の形式が適正なものでないこと。		○	
		規定部品の交換基準	目視及び触診により確認する。	規定部品の動作回数又は経過時間が規定値を超えていること。 S1,S2： 15 年 1000 万回 UDX： 6 年 100 万回	S1,S2： <u>3</u> 年 <u>56</u> 万回 UDX： <u>3</u> 年 <u>56</u> 万回	○	
(5)	ブレーキ	パッドの状況	目視により確認する。	パッドに欠損、割れがあること又はディスクから剥離していること。		○	
		制動力の状況	かごの無積載上昇時のブレーキ制動を確認する。	ブレーキが制動しないこと又はかごが規定の距離以内で停止しないこと。 規定値： 1,000 mm	制動距離： <u>523</u> mm 前回： <u>723</u> mm	○	
		ブレーキ動作感知装置	目視により確認する。	ブレーキ開及び閉時の動作信号が異なる信号である事。		○	


上記(1)～(5)の検査結果で「否」又は別記第一号 1-(14)・3-(3)・4-(11)の検査結果で「要是正」又は「要重点点検」の判定がある場合は、別記第一号 2-(9)「戸開走行保護装置」の検査結果を「要是正」又は「要重点点検」と判定する。

特記事項

番号	検査項目	検査事項	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月

別添1様式 主索、鎖及びブレーキパッドの写真(A4)

主索又は鎖 最も摩耗若しくは摩損した主索若しくは鎖又は錆びた摩耗粉により 谷部が赤錆色に見える主索の番号 (--)		検査結果
		<input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> 要重点点検 <input checked="" type="checkbox"/> 指摘なし
		特記事項 撮影場所は、1階の停止時に駆動綱車にかかる箇所より600mmの位置

ブレーキパッド ブレーキパッドの取付位置 <input checked="" type="checkbox"/> 右 <input checked="" type="checkbox"/> 左		検査結果
		<input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> 要重点点検 <input checked="" type="checkbox"/> 指摘なし
		特記事項 クラッチ式

昇降機の状況等

【1. 昇降機に係る確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】 昭和61年 3月 31日 第 302 号
【ロ. 確認済証交付者】 ☒ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 ()
【ハ. 検査済証交付年月日】 昭和61年 5月 13日 第 302 号
【ニ. 検査済証交付者】 ☒ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 ()

【2. 検査日等】

【イ. 今回の検査】 (令和 1 年 7 月 29 日 実施)
【ロ. 前回の検査】 ☒ 実施 (平成30 年 8 月 24 日 報告) ☐ 未実施
【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】 ☒ 有 ☐ 無

【3. 検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録 第 号
昇降機等検査員 第 C90018392 号

【ロ. 氏名のフリガナ】 ヲカリ ケンイチ

【ハ. 氏名】 高栗 健一

【ニ. 勤務先】 日本オーチス・エレベータ株式会社
() 建築士事務所 () 知事登録 第 号

【ホ. 郵便番号】 112-0012

【ヘ. 所在地】 東京都文京区大塚二丁目9番3号 住友不動産音羽ビル4階

【ト. 電話番号】 03-5940-2914

(その他の検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録 第 号
昇降機等検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】
() 建築士事務所 () 知事登録 第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【4. 保守業者】

【イ. 名称】 日本オーチス・エレベータ株式会社
【ロ. 郵便番号】 112-0012
【ハ. 所在地】 東京都文京区大塚二丁目9番3号 住友不動産音羽ビル4階
【ニ. 電話番号】 03-5940-2860

【5. 昇降機の概要】 (番号 3 号機)

【イ. 種類】 ☒ 建築設備 ☐ 工作物
【ロ. 種別】 ☒ エレベーター (☐ 斜行) ☐ エスカレーター ☐ 小荷物専用
【ハ. 駆動方式】 ☒ ロープ式 ☐ 油圧式 ☐ その他 ()
【ニ. 用途等】 ☒ 乗用 (☐ 人荷共用 ☐ 非常用) ☐ 寝台用 ☐ 自動車運搬用 ☐ 荷物用
【ホ. 機械室の有無】 ☒ 有 ☐ 無
【ヘ. 仕様】 (電動機の定格容量) (定格速度) (積載量) (定員) (踏段の幅) (勾配)
(3.7kW) (60m/min) (600kg) (9人) (m) (度)
【ト. 停止階】 1~10
(停止階床数 10)
【チ. 製造者名】 日本オーチス・エレベータ株式会社

【6. 検査の状況】

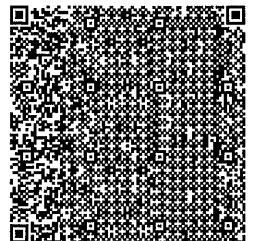
【イ. 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格)
☐ 要重点点検の指摘あり ☒ 指摘なし
【ロ. 指摘の概要】
【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (年 月に改善予定)
☐ 無

【7. 不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 ☐ 有 ☒ 無
【ロ. 不具合記録】 ☐ 有 ☒ 無
【ハ. 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 (年 月に改善予定) ☐ 予定なし

【8. 備考】

戸開走行保護装置 (認定番号: ENNNUN-1037) 平形ロープ (認定番号: EPNN-0067)



当該検査に 関与した 検査者		氏名	検査者番号
	代表となる検査者	高栗 健一	
	その他の検査者		

		昇降機番号		3		
番号	検査項目	検査結果				担当 検査者 番号
		指摘 なし	要重点 点検	要是正	既 存 不適格	
1	機械室(機械室を有しないエレベーターにあっては、共通)					
(1)	機械室への通路及び出入口の戸	○				
(2)	機械室内の状況並びに照明装置及び換気設備等	○				
(3)	機械室の床の貫通部	○				
(4)	救出装置	○				
(5)	開閉器及び遮断器	○				
(6)	接触器、継電器及び運転制御用基板 制御器	電動機主回路用接触器の主接点 主接点を目視により確認 フェールセーフ設計 (<u>該当する</u>)・該当しない) 交換基準 ① 製造者が指定する交換基準 (30年) ロ. やむを得ない事情により、 検査者が設定する交換基準 ()				適・否・ <u>確認不可</u> 最終交換日 平成28年 6月30日 MC MC:3年
		ブレーキ用接触器の接点 接点を目視により確認 フェールセーフ設計 (<u>該当する</u>)・該当しない) 交換基準 ① 製造者が指定する交換基準 (10年100万回) ロ. やむを得ない事情により、 検査者が設定する交換基準 ()				適・否・ <u>確認不可</u> 最終交換日 平成28年 6月30日 LB LB:3年/86万回
		○				
(7)	ヒューズ	○				
(8)	絶縁	電動発電機の回路 (300V以下) (300V超)	MΩ			
		電動機の回路 (300V以下) (300V超)	MΩ			
		制御器等の回路の300Vを超える回路	MΩ			
(9)		制御器等の回路の150Vを超え300V以下の回路	10 MΩ			
		制御器等の回路の150V以下の回路	10 MΩ			
(9)	接地	○				
(10)	階床選択機					

番号	検査項目			検査結果				担当 検査者 番号	
				指摘 なし	要重点 点検	要是正	既 存 不適格		
(11)	減速歯車								
(12)	網車又は巻胴	網車と主索のかかり ① 製造者が指定する要是正となる基準値 (シーブ面損傷、メッキの剥離 mm) ロ. やむを得ない事情により、検査者が 設定する要是正となる基準値 (mm) ハ. 網車と主索の滑り等により判定 複数の溝間の摩耗差の状況	--- mm 適 ・ 否 適 ・ 否	○					
(13)		軸受	○						
(14)		ブレーキ	しゅう動面への油の付着の状況 保持力 イ. ブレーキをかけた状態において、トルク レンチにより確認 ② プレーキをかけた状態において、電動機 にトルクをかけ確認 ハ. かごに荷重を加え、かごの位置を確認						○ ・ 否 ○ ・ 否
			パッドの厚さ ① 製造者が指定する 要重点点検となる基準値 (すき間0.40mm以上 mm) 要是正となる基準値 (すき間0.45mm以上 mm) ロ. やむを得ない事情により、検査者が 設定する 要重点点検となる基準値 (mm) 要是正となる基準値 (mm)						右 0.30 mm 左 mm
	プランジャーストローク ① 構造上対象外 ロ. 製造者が指定する 要重点点検となる基準値 (mm) 要是正となる基準値 (mm) ハ. やむを得ない事情により、検査者が 設定する 要重点点検となる基準値 (mm) 要是正となる基準値 (mm)		mm						
	そらせ車			○					
(15)	電動機			○					
(16)	電動発電機								
(17)	駆動装置等の耐震対策			○					
(18)	速度	定格速度 (60 m/min)	上昇 60 m/min 下降 60 m/min	○					
2	共通								
(1)	かご側 調速機	過速スイッチの作動速度 (定格速度の 121.7 %)	73 m/min	○					
		キャッチの作動速度 (定格速度の 135.0 %)	81 m/min						
(2)	釣合おもり 側調速機	キャッチの作動速度(かご側キャッチの作動速度の %)	m/min						

番号	検査項目		検査結果				担当 検査者 番号
			指摘 なし	要重点 点検	要是正	既 存 不適格	
(3)	主索又は鎖	径の状況 最も摩耗した主索の番号() % 直径 (mm) 未摩耗直径 (mm)					
		素線切れ 最も摩耗した主索の番号() 本 該当する素線切れ判定基準() 素線切れが生じた部分の断面積の割合 70%超・70%以下	1よりピッチ内の 素線切れ数				
		1構成より 1ピッチ内の 最大の素線切れ数 本					
		錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分 (あり ・ なし) % 谷部が赤錆色に見える主索の番号 () 直径 (mm) 未摩耗直径 (mm) 該当する錆及び錆びた摩耗粉判定基準 () 本	1構成より 1ピッチ内の 最大の素線切れ数 本				
		主索本数(本) 要重点点検の主索の番号() 要是正の主索の番号()					
		鎖 摩耗 最も摩耗した鎖の番号() 測定長さ(mm) 基準長さ(mm) 伸び % 鎖本数(本)					
		要重点点検の鎖の番号() 要是正の鎖の番号()					
	(4)	主索又は鎖の張り	○				
	(5)	主索又は鎖及び調速機ロープの取付部	○				
	(6)	主索又は鎖の緩み検出装置					
(7)	主索又は鎖の巻過ぎ検出装置						
(8)	はかり装置	○					
(9)	戸開走行保護装置	○					
(10)	地震時等管制運転装置	○					
(11)	降下防止装置						
(12)	換気設備等						
(13)	制御盤扉						
3	かご室						
(1)	かごの壁又は囲い、天井及び床	○					
(2)	かごの戸及び敷居	○					
(3)	かごの戸のスイッチ	○					
(4)	床合わせ補正装置及び着床装置	○					
(5)	車止め、光電装置等						
(6)	かご操作盤及び表示器	○					
(7)	操縦機						
(8)	外部への連絡装置	○					
(9)	かご内の停止スイッチ	○					
(10)	用途、積載量及び最大定員の標識	○					
(11)	かごの照明装置	○					
(12)	停電灯装置	○					
(13)	かごの床先	○					
4	かご上						
(1)	かご上の停止スイッチ	○					
(2)	頂部安全距離確保スイッチ						
(3)	上部ファイナルリミットスイッチ及びリミット(強制停止)スイッチ	○					

番号	検査項目	検査結果				担当 検査者 番号
		指摘 なし	要重点 点検	要是正	既 存 不 適 格	
(4)	上部緩衝器又は上部緩衝材					
(5)	頂部綱車					
(6)	調速機ロープ	径の状況 直径 (9.9 mm) 未摩耗直径 (10.0 mm)	99 %	○		
		素線切れ 該当する素線切れ判定基準(ハ 素線切れが生じた部分の断面積の割合 -70%超 - 70%以下				
		錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分 (あり ・ なし) 直径 (mm) 未摩耗直径 (mm) 該当する錆及び錆びた摩耗粉判定基準 (---)	%			
(7)	かごの非常救出口					
(8)	かごのガイドシュー等	○				
(9)	かご吊り車	○				
(10)	ガイドレール及びレールブラケット	○				
(11)	施錠装置	○				
(12)	昇降路における壁又は囲い	○				
(13)	乗り場の戸及び敷居	○				
(14)	昇降路内の耐震対策	○				
(15)	移動ケーブル及び取付部	○				
(16)	釣合おもりの各部	○				
(17)	釣合おもり 非常止め装置	形式 早ぎき式・次第ぎき式・スラックロープ式				
		作動の状況 イ. 無積載の状態において非常止め作動時にブレーキを開放して確認 ロ. 非常止め作動時に綱車が空転することを確認又は空転検知を示す 発光ダイオード、信号等により確認 ハ. 非常止め作動時にかごを持ち上げ、主索の緩みを確認 ニ. スラック式にあっては、主索又は鎖を緩めた後に釣合おもりが動 かず、主索又は鎖が緩んだままであることを確認				
(18)	釣合おもりの吊り車	○				
(19)	かごの戸の開閉機構	○				
(20)	かごの枠	○				
5	乗り場					
(1)	押しボタン等及び表示器	○				
(2)	非常解錠装置	○				
(3)	乗り場の戸の遮煙構造					
(4)	昇降路の壁又は囲いの 一部を有しない部分の構造					
(5)	制御盤扉					
6	ピット					
(1)	保守用停止スイッチ					
(2)	底部安全距離確保スイッチ					
(3)	下部ファイナルリミットスイッチ及びリミット(強制停止)スイッチ	○				
(4)	緩衝器及び 緩衝材	形式 ばね式・油入式・緩衝材		○		
		劣化の状況	適 ・ 否			
		作動の状況(油入式のものに限る。)	適 ・ 否			
		油量の状況(油入式のものに限る。)	適 ・ 否			
(5)	張り車	○				
(6)	ピット床	○				

番号	検査項目	検査結果				担当 検査者 番号																																																
		指摘 なし	要重点 点検	要是正	既 存 不適格																																																	
(7)	形式 早ぎき式・ <u>次第ぎき式</u> ・スラックロープ式 作動の状況 イ. 釣合おもりよりかごが重い状態において非常止め作動時にブレーキを開放して確認 <input checked="" type="checkbox"/> 非常止め作動時に綱車が空転することを確認又は空転検知を示す発光ダイオード、信号等により確認 ハ. 非常止め作動時に釣合おもりを持ち上げ、主索の緩みを確認 ニ. スラック式にあつては、主索を緩めた後にかごが動かず、主索が緩んだままであることを確認	○																																																				
(8)	かご下綱車																																																					
(9)	釣合ロープ又は釣合鎖の取付部																																																					
(10)	釣合おもり底部すき間 緩衝器形式 <u>ばね式</u> ・油入式・緩衝材 制御方式 交流1(2)段制御・ <u>その他</u> 470 mm 前回の定期検査時(480 mm)	○																																																				
(11)	移動ケーブル及び取付部	○																																																				
(12)	ピット内の耐震対策	○																																																				
(13)	駆動装置の主索保護カバー																																																					
(14)	かごの枠	○																																																				
7	非常用エレベーター																																																					
(1)	かご呼び戻し装置																																																					
(2)	一次消防運転																																																					
(3)	二次消防運転	二次消防運転時の速度	m/min																																																			
(4)	予備電源切替え回路																																																					
(5)	その他																																																					
8	上記以外の検査項目																																																					
1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>平形ロープ</th> <th>MFL</th> <th>D I (破損係数)</th> <th>判定結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>6.60未満</td> <td>良好</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 3.00(厚さ)X30.00(幅)mm (3)本</td> <td></td> <td>6.60~7.00</td> <td>要重点点検</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 3.00(厚さ)X60.00(幅)mm ()本</td> <td></td> <td>7.00を超える</td> <td>要是正</td> </tr> <tr> <td colspan="4">要重点点検のロープ NO. (). 要是正のロープ NO. ()</td> </tr> <tr> <th></th> <th>RBI</th> <th>LED表示</th> <th>判定結果</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> MFL使用 DI値 ()</td> <td></td> <td>点滅1回</td> <td>良好</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> RBI使用 点滅回数 (1)</td> <td></td> <td>点滅5回</td> <td>要重点点検</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>点滅6回</td> <td>要是正</td> </tr> <tr> <td colspan="4">判断基準</td> </tr> <tr> <td>コードが外部より見える又は露出した状態</td> <td></td> <td>要是正</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ウレタンジャケットに恒久的な変形がある</td> <td></td> <td>要是正</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	平形ロープ	MFL	D I (破損係数)	判定結果			6.60未満	良好	<input checked="" type="checkbox"/> 3.00(厚さ)X30.00(幅)mm (3)本		6.60~7.00	要重点点検	<input type="checkbox"/> 3.00(厚さ)X60.00(幅)mm ()本		7.00を超える	要是正	要重点点検のロープ NO. (). 要是正のロープ NO. ()					RBI	LED表示	判定結果	<input type="checkbox"/> MFL使用 DI値 ()		点滅1回	良好	<input checked="" type="checkbox"/> RBI使用 点滅回数 (1)		点滅5回	要重点点検			点滅6回	要是正	判断基準				コードが外部より見える又は露出した状態		要是正	○	ウレタンジャケットに恒久的な変形がある		要是正	○	○				
平形ロープ	MFL	D I (破損係数)	判定結果																																																			
		6.60未満	良好																																																			
<input checked="" type="checkbox"/> 3.00(厚さ)X30.00(幅)mm (3)本		6.60~7.00	要重点点検																																																			
<input type="checkbox"/> 3.00(厚さ)X60.00(幅)mm ()本		7.00を超える	要是正																																																			
要重点点検のロープ NO. (). 要是正のロープ NO. ()																																																						
	RBI	LED表示	判定結果																																																			
<input type="checkbox"/> MFL使用 DI値 ()		点滅1回	良好																																																			
<input checked="" type="checkbox"/> RBI使用 点滅回数 (1)		点滅5回	要重点点検																																																			
		点滅6回	要是正																																																			
判断基準																																																						
コードが外部より見える又は露出した状態		要是正	○																																																			
ウレタンジャケットに恒久的な変形がある		要是正	○																																																			
特記事項																																																						
番号	検査項目	検査事項	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月																																																	

特記事項					
番号	検査項目	検査事項	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月

戸開走行保護装置に対する定期検査及び定期点検の項目・事項・方法・判定基準及び検査結果表

大臣認定番号 ENNNUN-1037 UCMP型式 DBGP-3

発行:平成 31年 4月 1日Ver.6T

建築物等の名称: バームハイツ西葛西

機種: GeN2 MOD

登録番号: 1988062790

定格速度: 60m/min 積載入力: 600kg

検査者氏名: 高栗 健一

令和 1 年 7 月 29 日

昇降機番号: 3 号機

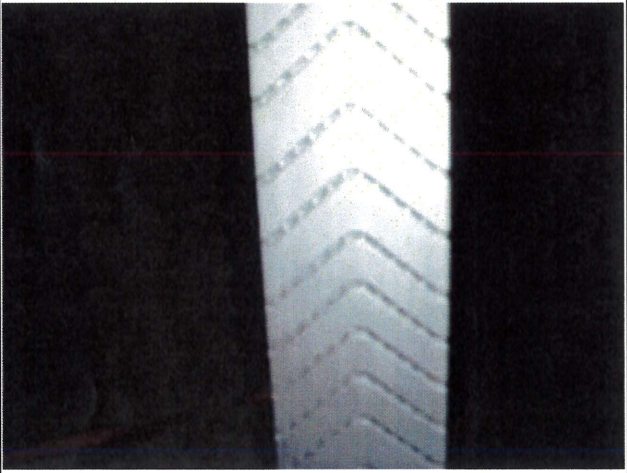
検査項目	検査事項	検査方法	判定基準	測定値・確認記録	結果	
					指摘なし	要是正
(1)	戸開走行保護回路	取付けの状況	触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。	○	
		走行中戸開時の動作確認	エレベーターがドアゾーン外にいる時に乗場戸の鍵を外す。	電動機動力電源及びブレーキの励磁コイル電源を遮断するリレー(S1.S2)が消磁しないこと。エレベーターが停止しないこと。	○	
		安全プログラムバージョン	目視により確認する。	プリント基盤「GECB」の型番を確認し、指定型番でないこと。 指定型番: JAA26807CEZ124	○	
(2)	つま先保護板	取付けの状況	目視及び触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。	○	
		長さ	かご床面からつま先保護板直線部までの長さを測定する。	測定値: 780 mm 規定値: 765 mm未満であること。	○	
(3)	特定距離感知装置	取付けの状況	目視及び触診により確認する。	取付けが堅固でない事。	○	
		動作確認	各階に走行させ着床させる。	正常に着床しない事。	○	
(4)	部品	規定部品の形式	目視により確認する。	規定部品の形式が適正なものでないこと。	○	
		規定部品の交換基準	目視及び触診により確認する。	規定部品の動作回数又は経過時間が規定値を超えていること。 S1,S2: 15 年 1000 万回 UDX: 6 年 100 万回 S1,S2: 3 年 86 万回 UDX: 3 年 86 万回	○	
(5)	ブレーキ	パッドの状況	目視により確認する。	パッドに欠損、割れがあること又はディスクから剥離していること。	○	
		制動力の状況	かごの無積載上昇時のブレーキ制動を確認する。	ブレーキが制動しないこと又はかごが規定の距離以内で停止しないこと。 規定値: 1,000 mm	○	
		ブレーキ動作感知装置	目視により確認する。	ブレーキ開及び閉時の動作信号が異なる信号である事。	○	

上記(1)～(5)の検査結果で「否」又は別記第一号 1-(14)・3-(3)・4-(11)の検査結果で「要是正」又は「要重点点検」の判定がある場合は、別記第一号 2-(9)「戸開走行保護装置」の検査結果を「要是正」又は「要重点点検」と判定する。

特記事項

番号	検査項目	検査事項	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月

別添1様式 主索、鎖及びブレーキパッドの写真(A4)

主索又は鎖 最も摩耗若しくは摩損した主索若しくは鎖又は錆びた摩耗粉により 谷部が赤錆色に見える主索の番号 (—)	検査結果	
	<input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> 要重点点検 <input checked="" type="checkbox"/> 指摘なし	
	特記事項 撮影場所は、1階の停止時に駆動綱車にかかる箇所より600mmの位置	

ブレーキパッド	検査結果	
ブレーキパッドの取付位置 <input checked="" type="checkbox"/> 右 <input checked="" type="checkbox"/> 左	<input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> 要重点点検 <input checked="" type="checkbox"/> 指摘なし	
	特記事項 クラッチ式	

建築物等の名称 : パームハイツ西葛西

登録番号 1988062790
043626 3